

箕輪町 農業委員会だより

挑戦

荒廃農地をホタルの里へ



ホタル交尾の様子

上伊那農業高校コミュニティデザイン科里山コースでは、地域をフィールドとして、里山が果たすべき役割、未来の里山の在り方など、自然環境と生活とのつながりについて、生徒自ら課題をチャンスと捉え、課題解決に向けて挑戦し、生徒が「里山と人々のつながり」をコーディネート（橋渡し）していくことで、新しい時代の里山として持続可能な地域づくりを実践的に学んでいます。

その学びの一つとして、ホタルが生息できる里山環境の復活を目指して活動しています。

2020年から、ホタルの会の活動に協同（南箕輪村大泉地区の住民有志）し、ホタルが生息できる環境を整える第一歩として、ゲンジホタルの幼虫の餌である「カワニナ」を試験水路に放流を行った結果、現在では多くのカワニナが越冬し、順調に育っています。

そこで、昨年度からは同会の依頼も受けて、養殖に向けた活動もスタートさせました。箕輪町三日町にある「かまくら沢生きものの里」（南小から徒歩5分）にカワニナの放流とホタル捕獲大作戦を決行！捕獲したホタルの成虫を校内で飼育し、産卵から繁殖させる取り組みを行っています。先輩から思いを引き継いだ里山コース2年生（20名）が、生きものの里の他、福与判の木沢の荒廃農地で、地域の方に加え、箕輪南小学校6年生（18名）も高校生と一緒に「ホタルと暮らす里山づくり」を目指しています。



カワニナの放流

カワニナの養殖

協同復活プロジェクト

福与判の木
常会有志

南小

「ホタル Labo 2023」

～ホタルと暮らす里山づくり～

地権者

農業委員
地区担当

上農高校

箕輪
営農組合

目から うろこ編 その十

「化学農薬の使い方と生物農薬の使い方」
「化学農薬と生物農薬の違い」

唐澤 金実さん（沢）

化学農薬は発売当初は一発で効きますが、次第に病気や害虫に抵抗性が出てきて効かなくなり、一度抵抗性を獲得した個体が繁殖するとその後全ての個体が抵抗性を待ちますので効かなくなるようです。これは病害菌も同じです。

農薬の使い方としては、害虫の場合は忌避剤から使い、しつこく残る場合は、気門封鎖型⇒IGR剤（脱皮阻害）剤、これ以上害虫が増えると収穫に影響が出る場合のみ合成農薬のネオニコチド・合ピレ剤（神経作用型）を使うことをお勧めします。効くからと言って最初から合成農薬を使うと、影響日数が120日と長いものもあり、受粉蜂が農薬の付いた花粉を食べて死に、ミツバチ・ハナアブ・花蜂類などの訪花昆虫、害虫を食べる天敵を絶滅させ、より強い大量の化学農薬を使わないと防げなくなる可能性が大きくなるからです。また、ウドンコ病はアルカリに弱いので重曹を100倍程度に希釈して患部にかけて消えていきます。

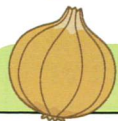
イモムシ類や病害の生物農薬（幼虫の体に寄生するカビの類を農薬登録したもの）として登録されている生物農薬（<https://www.s-boujo.jp/kihon/file/02kouri/0209.pdf>）を参照してください。注意点は、ほとんどが微生物なので、できれば曇天時か夕方まで雨が降らない時期を見計らって散布するのがいいでしょう。また、散布用ノズルですが、除草剤散布用の飛散防止泡ノズルに変えて散布すると効きがいいです。

前回も書きましたが、害虫や病気の発生が多くなる原因は窒素過多や土壌疲弊なので、まず炭素の多い作土と化学肥料をできるだけ少なくすることをお勧めします。

民間農薬の忌避剤としてよく使われているのが、トウガラシやニンニク、ハーブ類（ハッカ、ミント）、ドクダミを焼酎漬けにしたものです。広口瓶にそれぞれ100g程度を刻んで入れ、乙類の焼酎で漬け込むと、3か月程度で使えるようになります。この漬け込んだ汁と酢をそれぞれ300倍に薄めて朝夕に散布すると、害虫の忌避剤になります。

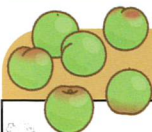
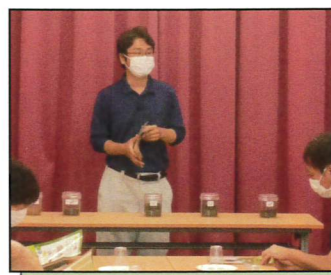


地域活動紹介編



富玉会イベント復活

富田区の有志 12 名で活動している「富玉会」(向山勝一会長)は、区内の 17a の圃場で、地域の子供たちを招き玉ねぎの収穫体験を開催しました。昨年 10 月に苗を植え付け、役員が中心となり肥培管理を行いました。親子で約 2kg の玉ねぎを持ち帰りました。コロナ禍で 3 年間中止になっていた交流会も開催し、玉ねぎカレーやカルパッチョを親子、役員で試食、交流を深めました。収穫された玉ねぎは、地元の保育園や小学校に寄贈したり、学校用の食材として提供されるとのことです。向山会長は「子供たちに農業の楽しさ、大変さを知ってもらい将来の農業につなげれば」と語っていました。新たな取り組みとして、JA から提供された「バイオ炭」の栽培実証実験を開始しました。町のゼロカーボンに一躍を投じることに期待がもたれています。



南部営農組合梅もぎ取り体験

今年も恒例の竜峡小梅の販売イベントを開催しました。脚立に登り一つ一つ丁寧に摘み取り、多い人は 5kg、6kg を購入し、持ち帰って行きました。



南部・北部営農組合じゃがいも収穫体験



7月22日南部、北部営農組合は恒例のジャガイモ収穫体験を開催しました。今年は肌が綺麗で良質なジャガイモが多く参加者は袋一杯詰め込み持ち帰って行きました。



農業委員会研修報告



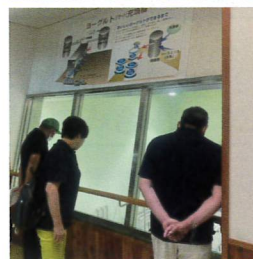
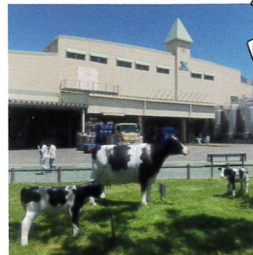
7月19日に研修を行いました。

信州ミルクランド

1999年9月に県内の3工場を統合し設立されました。県内で生産される生乳の約30%(2.7万トン)を処理しています。

ニプロ松山株式会社

明治35年に創業以来、農業用作業機械の専門メーカーとして常に新しい機械の開発・商品化に取り組んでいます。



箕輪町農業委員会の各地区担当委員 (任期：2024年3月まで)

唐澤 金実	沢上北部1組 79-5668	唐澤 俊秀	中原2組 79-5783	藤森 英雄	木下南城 79-4596	井口 雅文	福与卯の木 79-3801
大槻 憲治	沢15組 79-6116	春日 初(会長代理)	松島西小路 79-4370	小松 孝寿	木下南原 79-5219	金澤 博(農地部長)	長岡大門 79-5428
藤田 久一	大出4組 79-5525	唐澤 健二	松島春日町 79-6467	櫻井 克成	木下一の宮2 70-8536	上田 千志	南小河内 北部 79-5711
関 幹子(農政部長)	八乙女1組 79-3894	小野健一朗	松島南町3 79-0530	赤沼 好秋	富田 2組 79-5861	鈴木 健二(会長)	北小河内 中村 70-6212
小林 正俊	下古田1組 79-3312	倉田 孝子	木下上一東 79-5172	唐澤 由寛	中曽根 1組 79-5010		
唐澤 稔	上古田3組 79-4027	原 美鈴	木下南部 79-3138	藤澤 昭二	三日町上棚 79-4959		

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 → 79-0636

地区営農組合(5地区)：連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください

北部(沢/大出/八乙女/下古田)、中部(上古田/中原/松島)、南部(木下/富田/中曽根)、箕輪(三日町/福与)、東箕輪(長岡/南・北小河内)

箕輪町農業委員会だより 第16号 発行 2023年9月1日
農業委員会事務局(役場 みどりの戦略課内) 0265-79-3170

編集後記：今年は梅雨明け前から 猛暑が続き 毎日のように 熱中症 関連のニュースが数多く流れていました。この高気温が農家に与える影響は少なくないと思います。コロナも 5 類 となり 人との交流もコロナ以前に戻りつつあります。収穫の秋に向けて 台風等気象に関して心配されますが 災害の少ないことを願っています (taka)